

とっとりアートピクニック:鳥取市中心市街地回遊構想

スローライフ(時間長者)実践のひとつとして、久松公園と鳥取駅前(新にぎわい空間)の間を、アートを基軸に回遊させる

〔狙い〕

- ・鳥取は大火、震災で歴史的町並みがほとんどない。駅前～久松公園の既存資産を活用しつつ、美観景観の視点から新たな価値を付加し、新しい記憶を次の世代に引き継ぐ
- ・官民がまち歩きの楽しさを共有することで、共通財産としての景観を活かした息の長いまちづくりや美観を守る意識を継続的に醸成する

〔構想〕ポイントは4つ

1. 久松公園、鳥取駅前、その中間の3ゾーンをアートの側面から特色づけたうえ、回遊性をもたせる

〔エリアコンセプトと概要〕

久松公園: アート自由区=ピクニック空間	中間:散策とアート	鳥取駅前:賑わいとアート
<ul style="list-style-type: none"> ・城跡、仁風閣、博物館(アートスペースとして) ・久松公園(芝生部)や博物館前を若手作家の造形表現活動の場に: 霧島アートの森 ・写真撮影会に適した景観:看板、ルート、ライトアップ時の敷地立ち入り(仁風閣) ・写真コンテストなどアートイベントの開催と告知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリーズ(アートスペース)、五臓園ビル、他の歴史的建造物 ・若手作家のアンテナショップ ・特色のある街道筋として:若桜、鹿野 ・銘品店、五感基準*適合 お食事処 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに誕生するにぎわい空間と商店街に隣接するアート空間:鉄筋彫刻とメロディアンロード、民藝館通り ・ワンストップ情報スポット:駅案内所のほか、ギャラリー(そら)

*繁盛店の5条件(by 河崎妙子レストランプロデューサー):味、雰囲気、サービス、メニュー、値段

2. 既存のアート展示スポットの活用、利用拡充に加え、アーティストの活動拠点を設け、継続的な情報発信を可能にする

⇒ギャラリーの情報を共有できるサイトを設ける(現状は展示スペースの紹介のみ)

⇒Mite Kite Gallery(仮称):空き店舗を活用(市が借り上げて貸与)して、アーティストが作品を展示し、マーケティングに直結させていく

*徳持耕一郎氏による

3. ニーズに応じたお勧め回遊コースの設定とワンストップで情報提供、対外発信を行う

〔回遊〕駅前⇔久松公園 間

- ・回遊コース・プランの提案
- ・多様な map をワンストップで提供: 情報スポットや電子ベース、HP や FB
- ・休憩スペース: 食事処、カフェ等協力店
- ・徒歩のほか、外来者向けにレンタサイクル、くる梨(緑)・ループ麒麟獅子バス
- ・駐輪スペースの明示: 回遊性とともに美観確保
- ・自動車学校(自動車免許合宿で県外から来訪)、関西・近隣県写真クラブなどへの発信

4. グループ活動により景観目線で定期点検を行うことで、官民の美観意識を向上させつつ、作りっぱなしでない、継続的なメンテナンス(公的支援の活用や沿道の美観向上を働きかけ)を実現

〔継続的グループ活動〕

このまち、発見隊!	景観、見守り隊
案内人・案内所、アート関係者(ギャラリストや若手作家)も含めた勉強会	平素から景観パトロール。街道筋のほか、市職員: 現役・OB も活動に積極参加し、リード役として意識改革

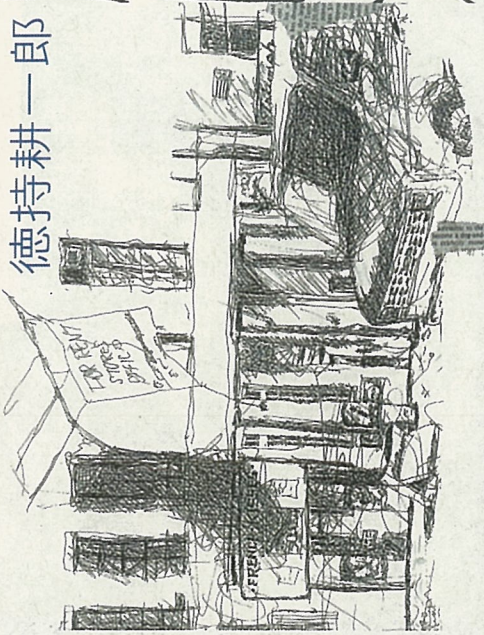
⇒ワークショップ(類似)方式で現地をみて回る(例えばくる梨沿線)

⇒官(現役)の側も組織横断的に取り組む(例: 市都市整備部、経済観光部、企画推進部・文化芸術推進課、教育委員会)

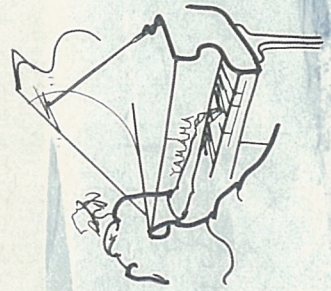
1989-2013

Line Drawing in the air 鉄筋彫刻

徳持耕一郎



Koichiro
Tokumochi



国道 29号線

鳥取駅 JR山陰本線

高田商店 ウィンドウ

2013年
は、鉄筋彫刻
20周年の年。
11月に記念展
を予定。

1. 万年筆博士ウィンドウ
2. 穴吹マンション1F
3. ぶどう屋
4. ギャラリーそら
5. ホテルニューオータニ別館入口
6. ホテルニューオータニ別館種え込み
7. 駅前パーキング入口付近
8. 高田商店ウィンドウ
9. わらべ館/松本英彦コーナー
10. カフェ・ダールミュゼ

内外の著名ミュージシャンの
スケッチを基に製作された
「スイングする彫刻」で、
鳥取を内外に発信する
徳持氏のアクティビティに注目！

20周年の皮切りに、2月末まで、
ミュゼに鉄筋彫刻を常設。

町中で彫刻ツアーの後、
カフェで談笑はいかが？

カフェ・ダールミュゼ
OPEN 10:00-21:00
<18:00~はご予約のみ>
☎0857-20-2520

鳥取市内で鉄筋彫刻
作品を見られる場所

徳持耕一郎 HP :
<http://www.hal.ne.jp/saurs/>

workshop SAURS

300 Miyadani, Tottori City, 680-1412 JAPAN
TEL&FAX:0857-29-8385
E-mail=saurus@hal.ne.jp

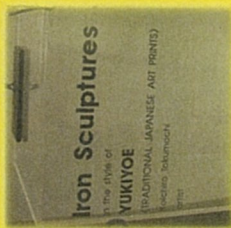
ワークショップ・ザウルス
鳥取市宮谷300 〒680-1412

<http://www.hal.ne.jp/saurs/>

◆ミュゼ店内の展示風景（12点を展示）



NHK Count Down Tokyo Jazz 2003



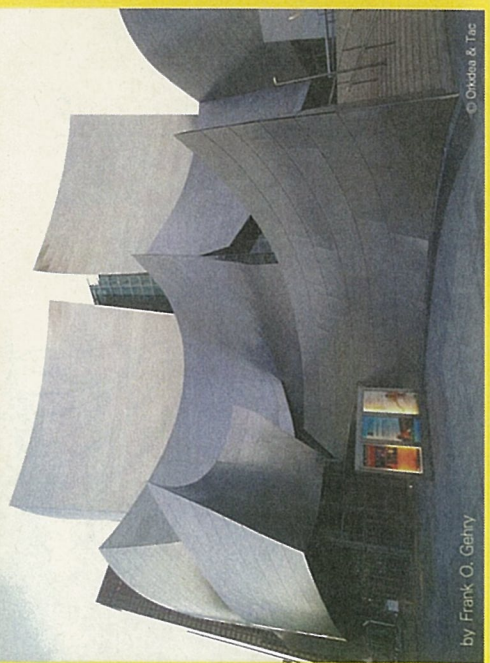
“浮世絵スタイルの鉄の彫刻”
と紹介される。



“Toku-he-yukitai” 2002, with Yuki (Nishimura)



Walt Disney Concert Hall (LA) に設置される。2009

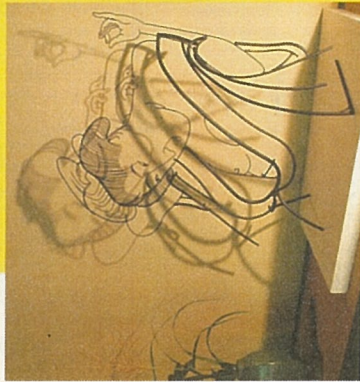


© Chitoba & Inc.

by Frank O. Gehry

そら
宙に描いた素描 鉄筋彫刻
Line Drawing in the air

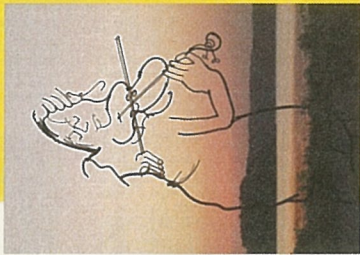
iron sculptures



<線のベクトル>

Ukiyoe

原点は「浮世絵」。
自分自身の表現って何だろうと
考え過ぎてきた。
子供の頃から好きだった北斎、
広重の風景画、歌麿の美人画。
欧米を旅して「日本の表現」って
何だろうと考えた時、やはり
ゴッホなどの印象派にも影響を
与えた浮世絵だった。
では、世界の中で浮世絵の特徴って
何だろうと考えると、その平面性にある。
そして今も、その一つの要素
「線」が私のテーマである。
方向と力(太さ)、つまり「ベクトル」を
持った鉄の線が宙を駆けめぐる。



"Duo in Tottori Sand Dune" 2012



PROFILE

浮世絵への興味から版画全般を学び、木版画を10年制作。'89年NYでの個展の際、毎晩ジャズクラブに通い、ジャズに魅了される。ライブを聴く時はいつもモスクに合わせジャズメンをスケッチする。'93年から鉄筋彫刻という独自のスタイルで作品を作る。

スケッチした線(輪郭線)をそのまま数種類の太さの鉄に置き換えることにより、一見壁に描かれた絵のように見えるが、その鉄の線は3次元的に曲がり、省略された部分もありながらその像は立体感を帯びている。

「西洋の塊の彫刻に対し、線だけでどこまで3次元的表現が出来るか」を追求し続けている。

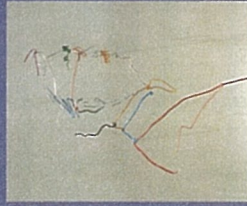


Nagi Museum of Contemporary Art, 2001

Jazz QD

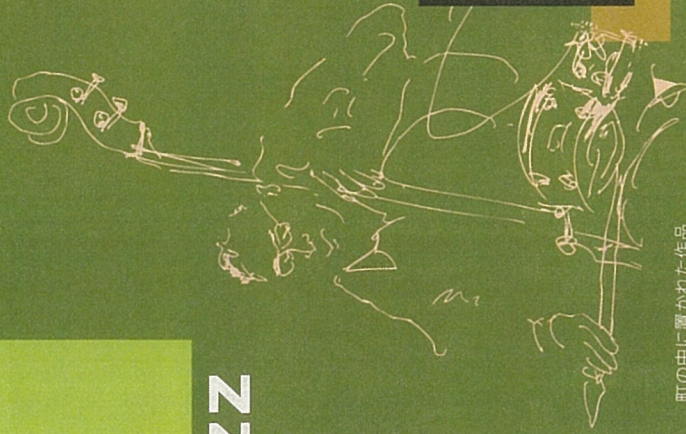


avex 2011



Museo Compositi

Jazz



"Tribute to John Cage"



町の中に置かれた作品

